

オーク・サウザン

オーク様の使い・魔にされた
姫騎士物語

てんぽ大好き・性処理使い・魔に利用されてる…
くっ殺せの最強姫騎士

フルカラーコミック
64ページ

✧ 聖華快樂書店

レイスヴァイン王立騎士団の
団長・アリシア・フォン・
レイスヴァインは、
危険地帯の見回りの最中に
統制の取れたオークの集団に
遭遇してしまった

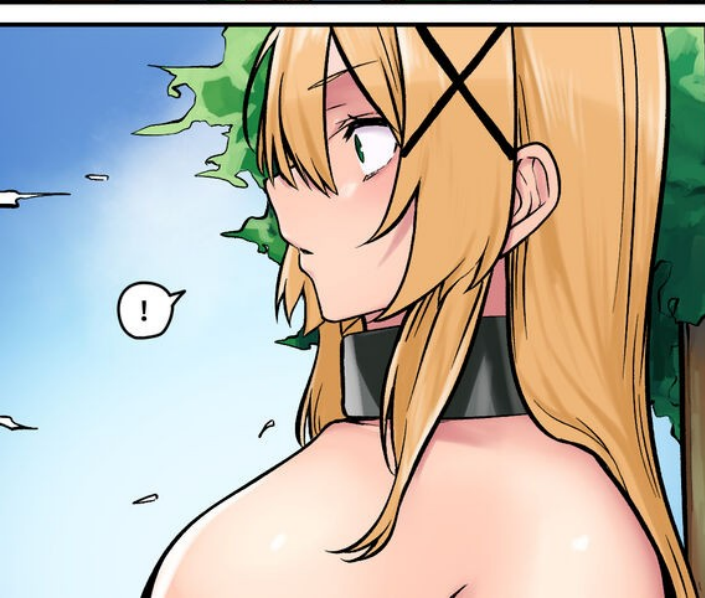
いかにアリシアが武勲を上げ
個人でも高い実力を誇る
騎士であっても、多勢に無勢の
状況では不利な形勢を
逆転するには至らず、
オーク達に囚われてしまった
のだった

我が軍門に下るのであれば
命だけは助けてやっても
いいぞ？

不覚……っ
くっ、ひと思いに殺せ！

貴様らのような
卑しい者の配下にな
るくらいなら
死んだ方がマシだ！

その威勢の良さが
いつまで続くかな？





なんだ
これは……？



はっ！

なに、薄汚れた貴様を
洗ってやろうと思っ
てな
——お前たち



貴様らのような
汚いオークが
触れていい体ではないっ

ひいっ！
触るなあっ！

グッ
グッ



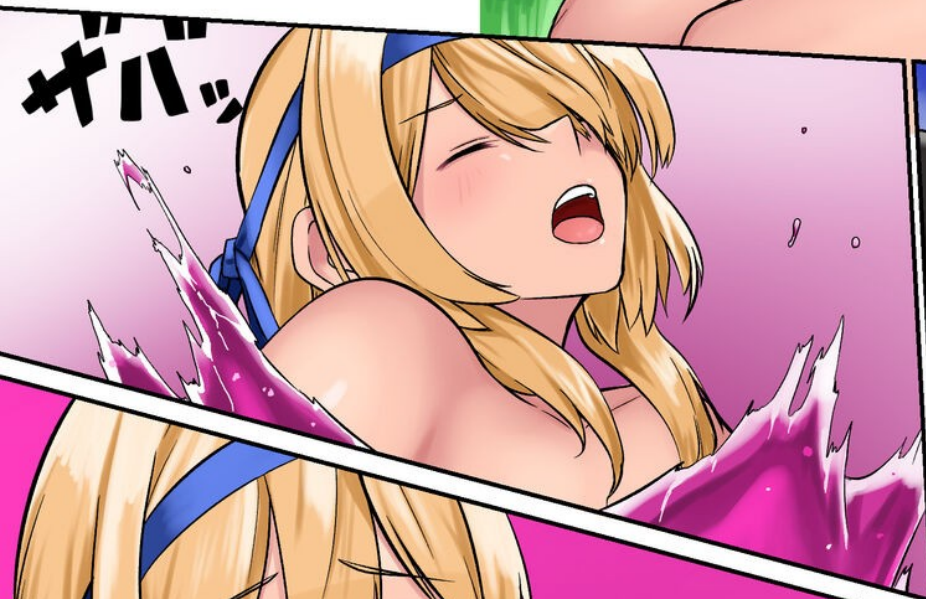
いい体つきを
しているじゃないか
これは期待が出来そうだ

フエ

フエ



お、おのれ……っ
貴様ら、絶対に許さんぞ……っ



くっ……なんだ
この泉は……？
妙に、体に絡む……っ



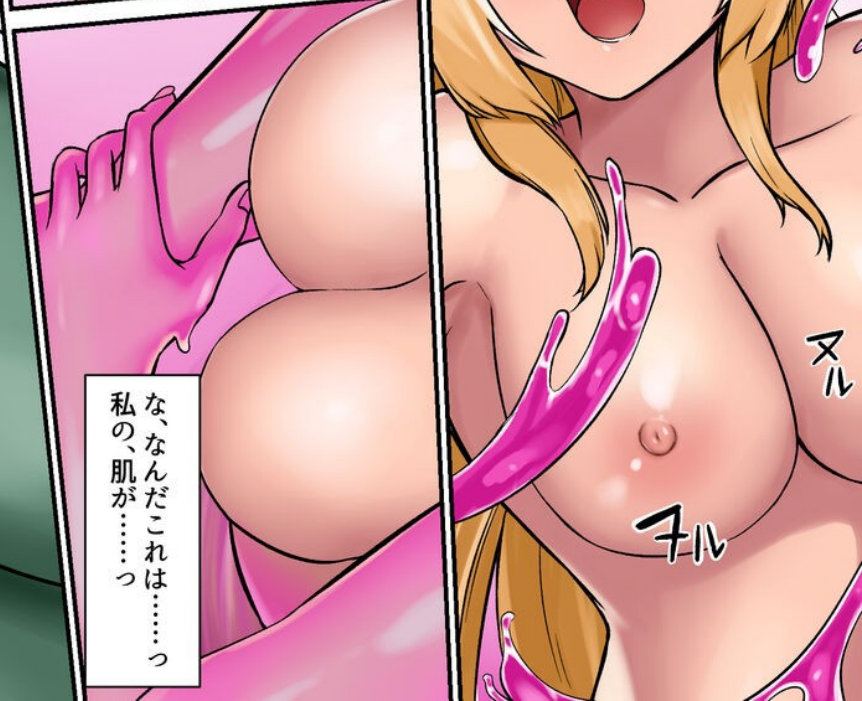
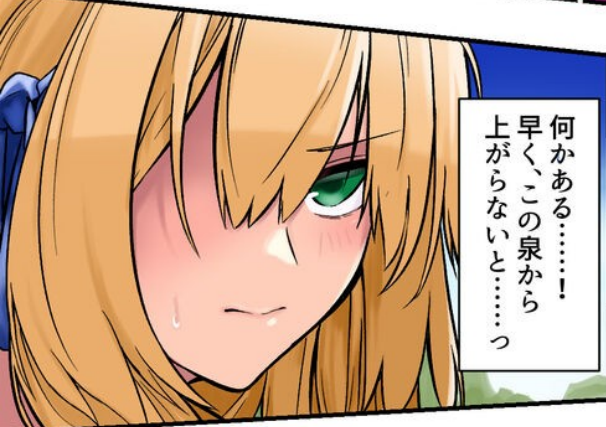
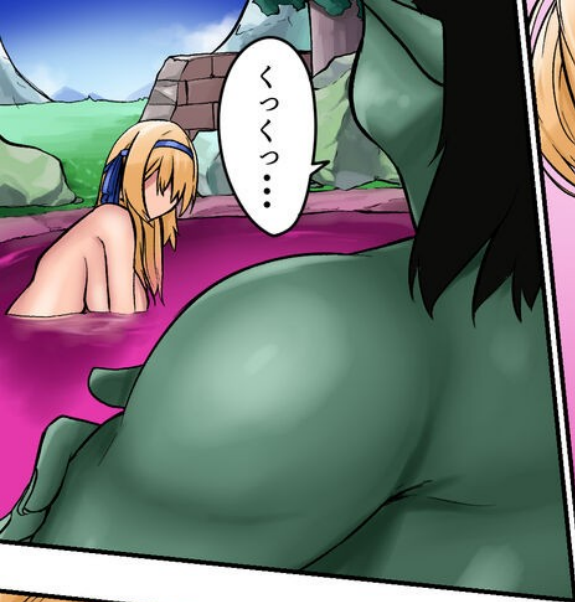
カシッ



さあ、思う存分
汚れを洗い流すがいい

——下らぬ人間の矜持という
取るに足らない汚れをな

グッ



アリシアが落とされた泉は
普通の泉ではなかった

その名を『淫魔源泉』と云う

『淫魔源泉』とは
魔族が下等淫魔を
創り出すために
用いる温泉だ

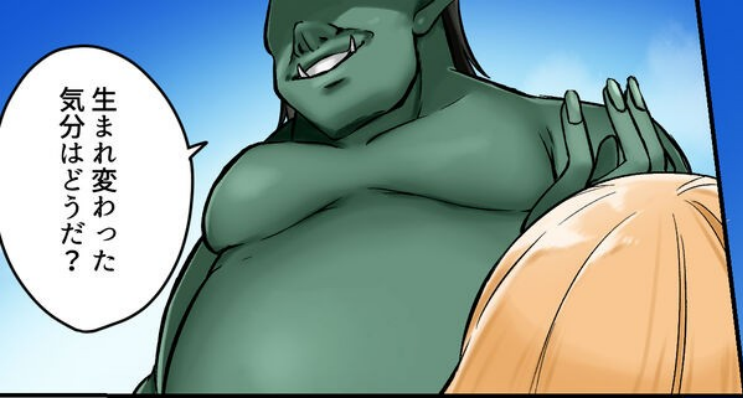
ピンク色の
お湯に見える液体は
隷従液という

隷従液は泉に
放り込まれた生物の
肌にまとわりつき
寄生する

肌が隷従液によって
覆われているわけではなく
肌と一体化してしまうため
脱ぐことは出来ない

完全にその隷従液が
定着した時
その獲物は
下等淫魔へと
成り果てるのだ

くっくくくく
我が同胞を
幾人も葬った女も
これで下等淫魔か……
少しは溜飲が下がる
というものだ



生まれ変わった
気分はどうだ？



わ、私の体が……っ



くっ！
最悪に決まって……!!



きゅん♡



随分、積極的じゃないか

ズッ

ちっ、ちがうっ！
私の意思ではな



隷従液に浸って
誕生した下等淫魔は
主人となった者の
欲望を読み取って行動する

たとえ今は心が
嫌がついていようと
いずれは身も心も
俺に屈するだろう

そんなに俺の物が
欲しいならそれ相応の
体勢があるだろう？



か、身体が勝手にっ
やめろっ入れるなあ！

そんなにに入れて
欲しいなら
応えてやらんな

ふっふっふっー

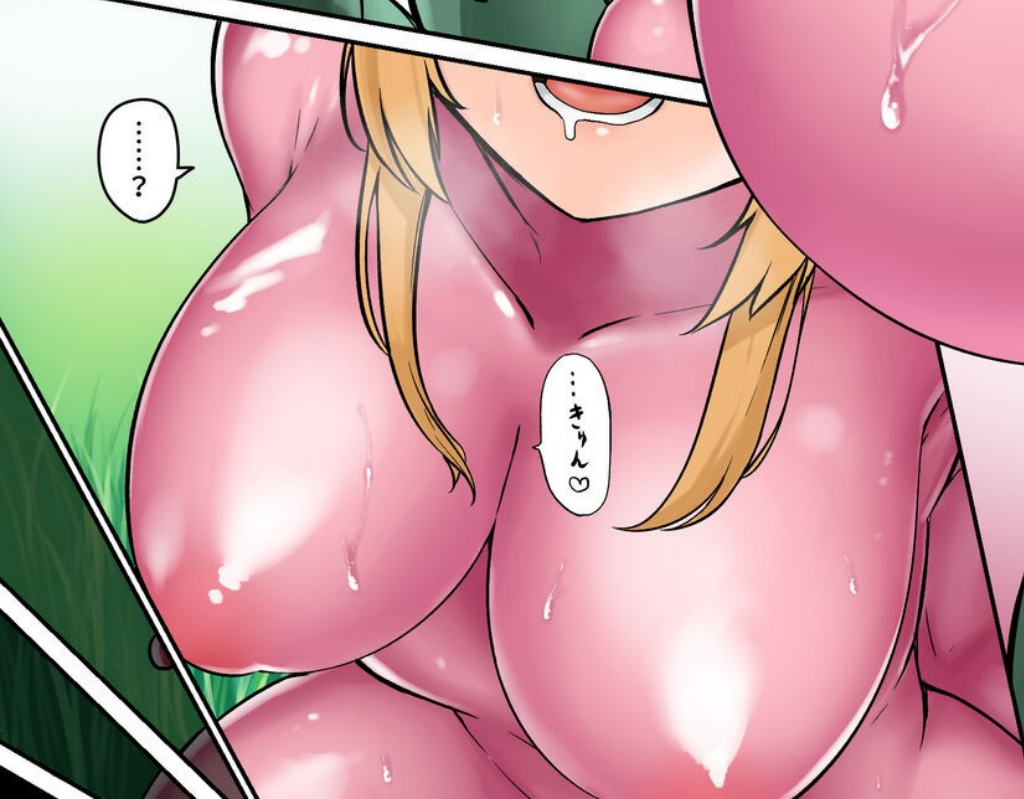
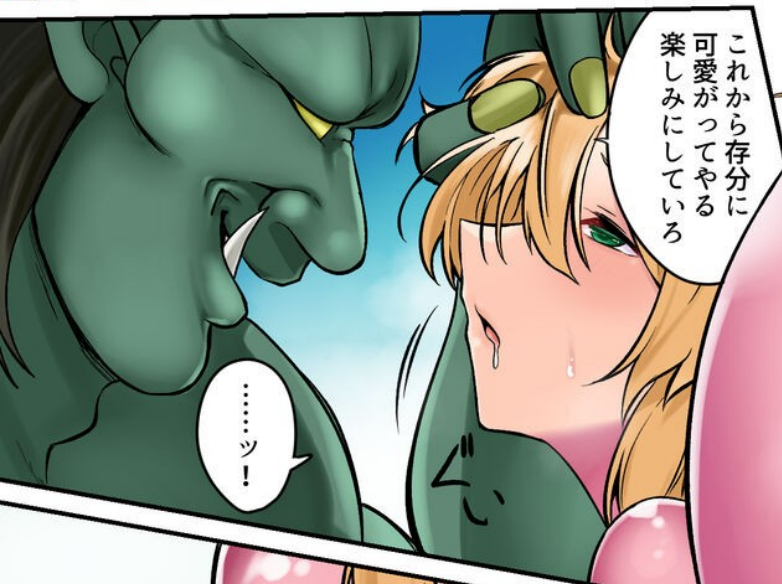
みち... みち

ズッ
ズッ
ズッ

お

お

パッ
パッ
パッ
パッ
パッ





それからアリシアの
凌辱の日々が始まった

昼夜問わず
気付けば犯される
毎日だった



くくそお……!!

身体さえ自由に動けば
こんな奴ら……!!



いやあ、
だいぶこいつの舌遣いも
上手くなって来たなあ



そろそろ良さそうだな

最初はチンコ弄るの
下手くそだったもんな

そろそろ良さそうだな



は、

くっ……こんなこと
したくないのに……っ！

あ、

最初はキツくて
窮屈だったが
すっかり穴も
広がったなあ

パン

パン

ズン

ぴぎゅっ！

ざあ……

そろそろこっちの
具合も確かめてみるか

こっち……





耐えていれば
きっと助けがくる……
それまでの、辛抱だ……っ



わ、私は絶対に
負けない……っ



はあ

はあ



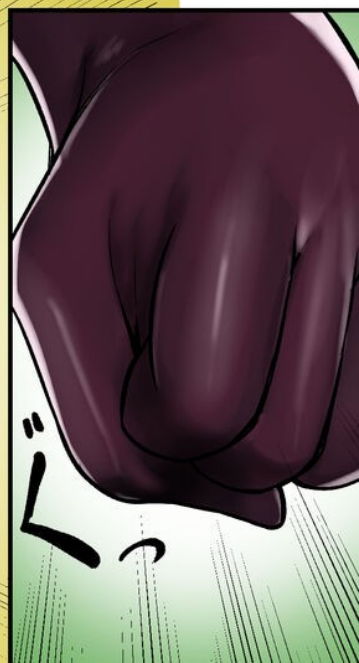
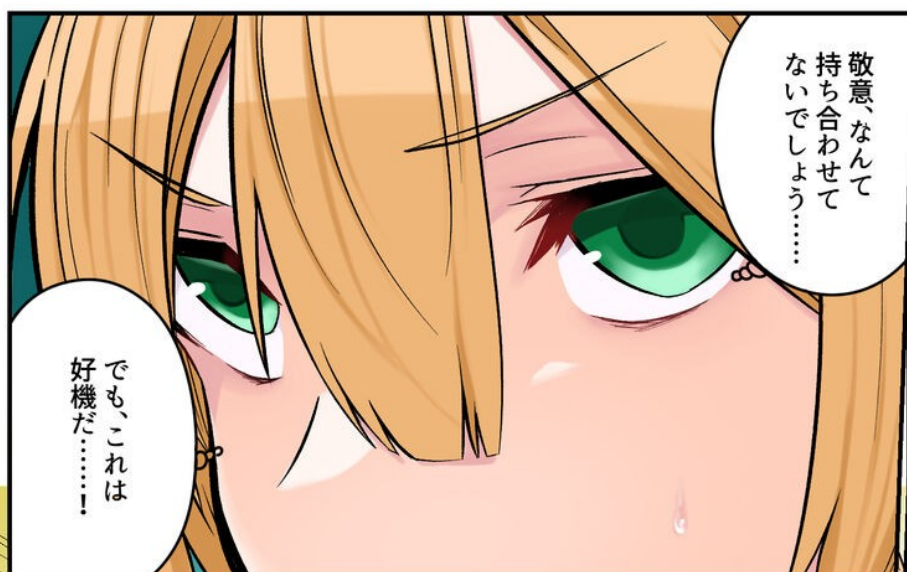
よし、これで
砦付近の人間の軍は
一掃できたな



そろそろ次に進む段階か



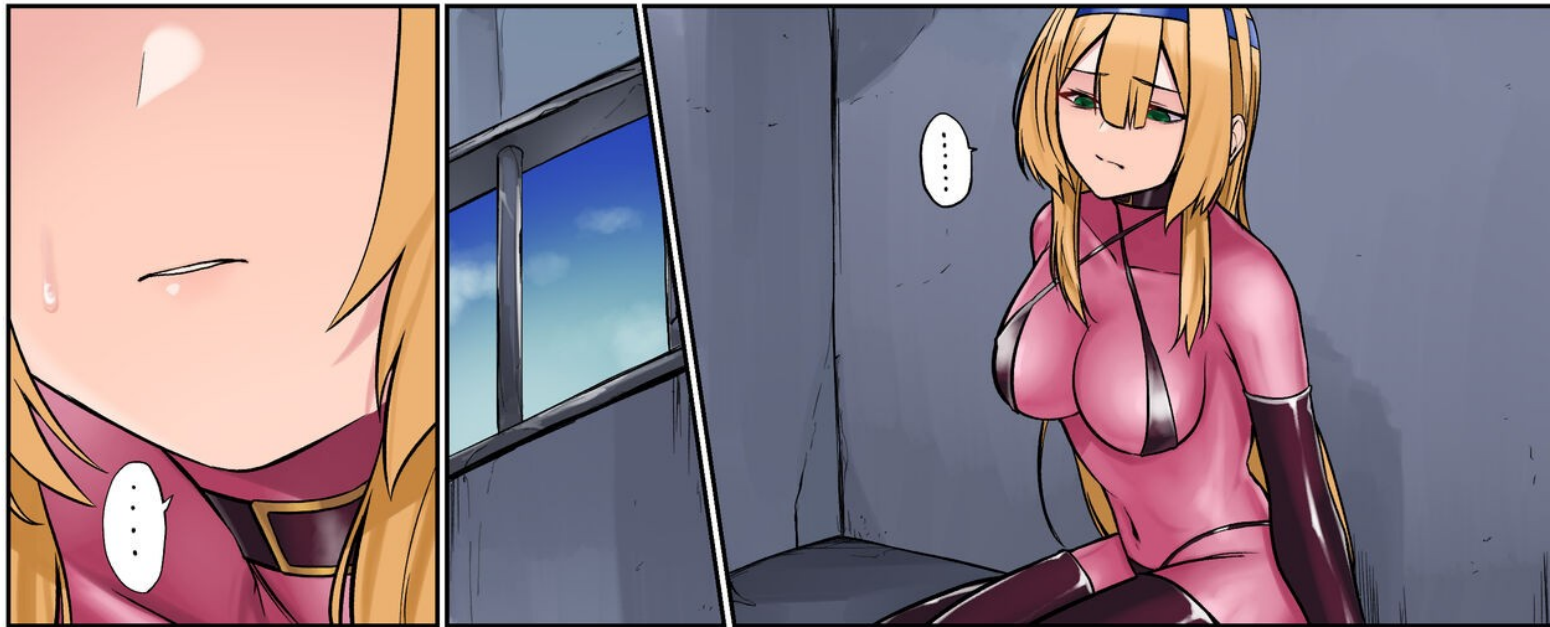






どういうこと……？

何もされないなら
それにこしたことは
ないけれど……



アリシアは
知らなかった

下等淫魔となった
自身の体が
性行為を行わないと
強い飢餓感を
覚えるように
なっていることを

それまではアリシアが
望まざとも絶え間なく
性行為をしていたが
それが急に途絶えた時
飢餓感がどれほど強まるか

アリシアは
知らなかったのだ

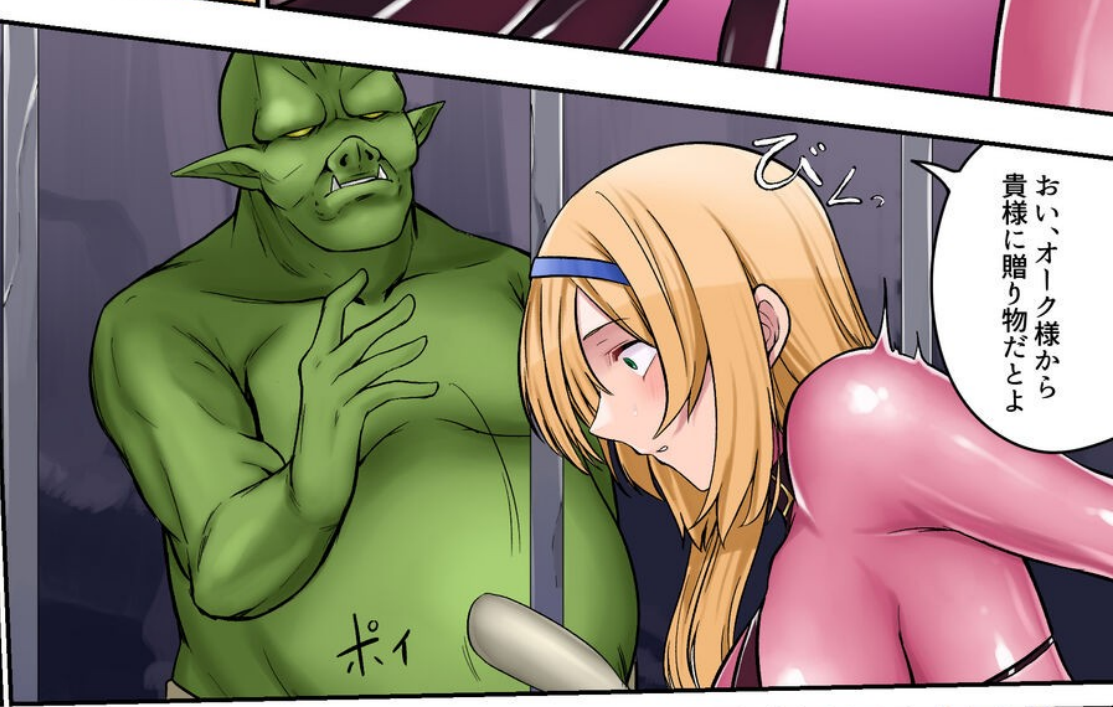


……っ！
ダメ……ッ！
そんな
はしたないこと……っ



あ……

この時、アリシアの
喉元まで『犯して』
という言葉が
出かかっていた



おい、オーク様から
貴様に贈り物だよ

びん

ポイ



……ク、ウツ！

いま、私は何を
しようと……っ！

そ、そうだ
贈り物とやらは……

ふああああ♡

ずわん♡

……あ、あ？

あ、あれ……？
気持ち、よく、
ない……っ!?

ぐちゃ♡

ぐちゃ♡

下等淫魔が発情し
強い快感を覚える条件は
主人に奉仕することだ

もみ

もみ

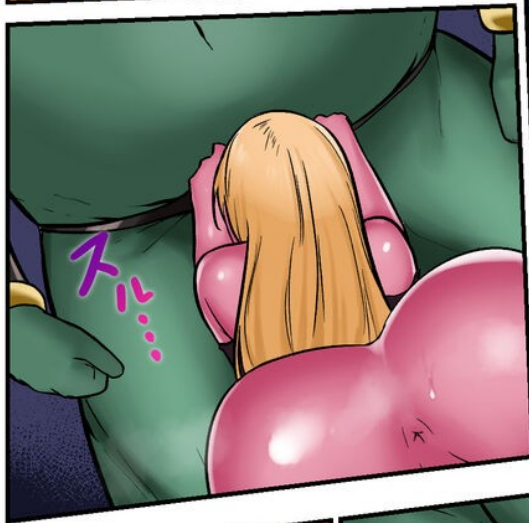
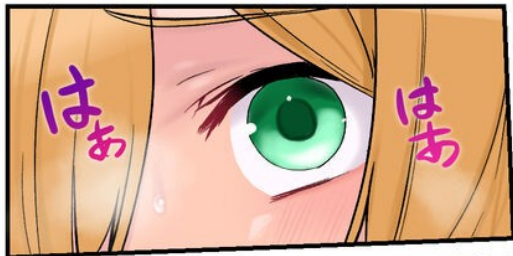
ゆえにアリシアは
オナニーでは
気持ちよくなれない

誰かに奉仕して
初めて彼女は
気持ちよくなれるのである

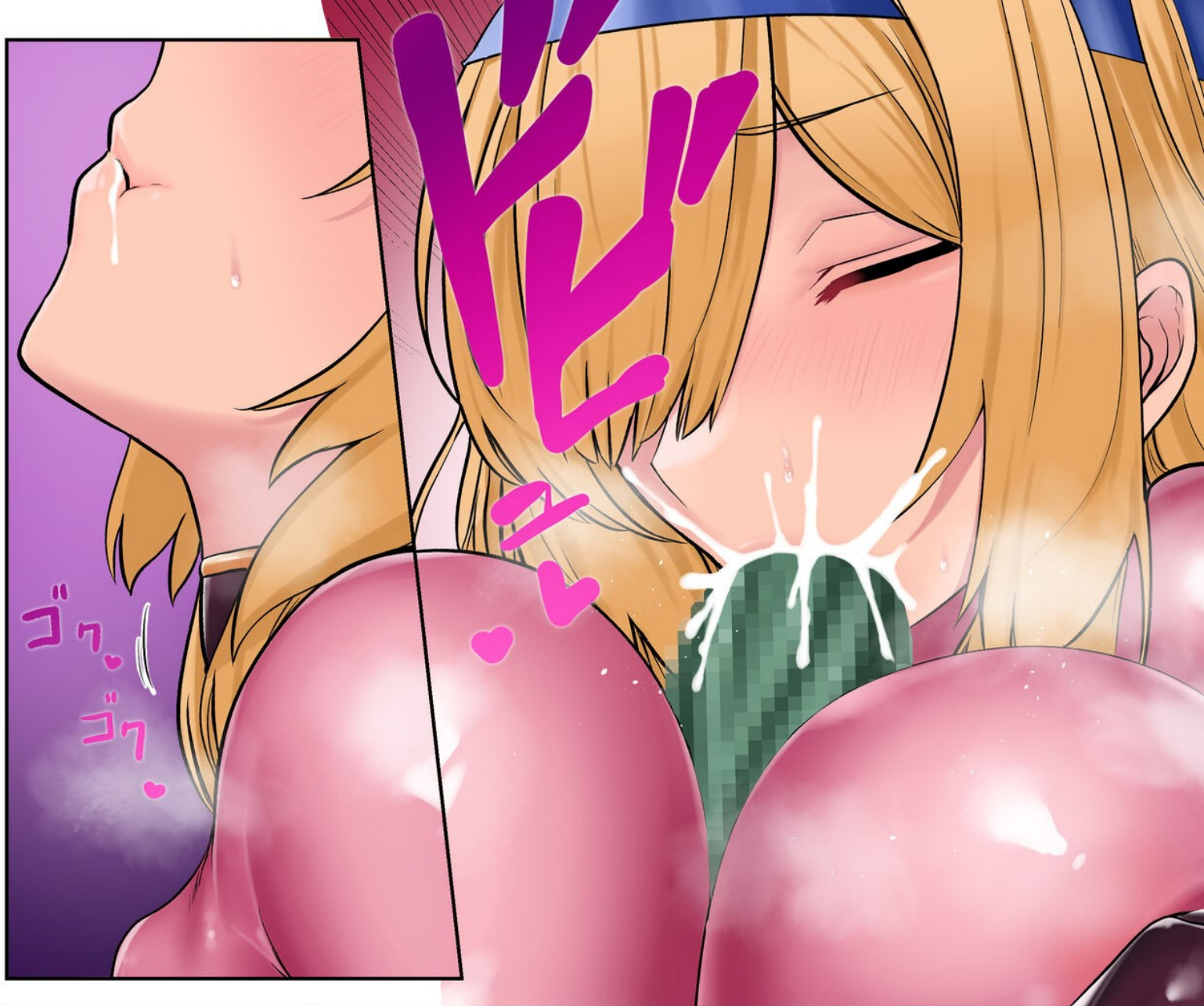
なんぞ？

なんぞ？

贈り物は喜んで
もらえたようだな？









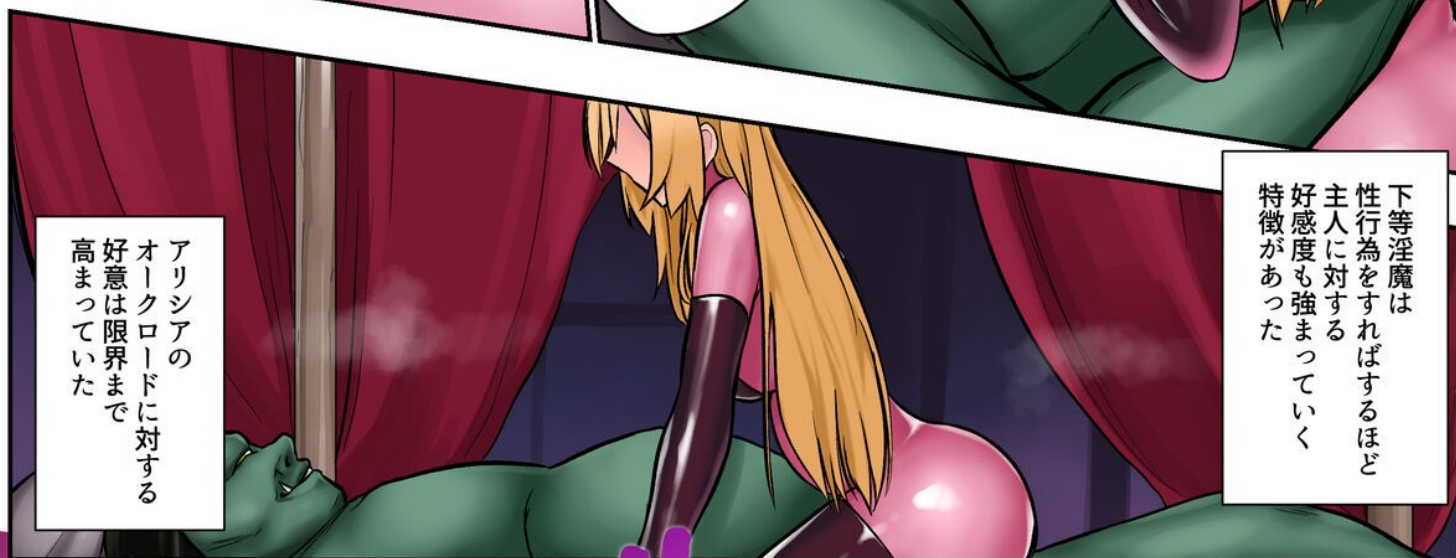
ご主人様……♡



きやつ

ガッ

全く……
こう素直だと
愛いものだな



下等淫魔は
性行為をすればするほど
主人に対する
好感度も強まっていく
特徴があった

アリシアの
オークロードに対する
好意は限界まで
高まっていた



し、失礼しま……っ
ふあ、ああっ！



アリシア
お前から動いてみる

は、はいっ♡





いいぞっ
俺はお前のなんだ？
言ってみろ！

オーク様はっ♡
私のご主人様ですっ♡



どうかこの卑しい雌をつ♡
もつとイジメてくださいませ♡

一生の忠誠を誓います！♡



カシッ



はあっ♡

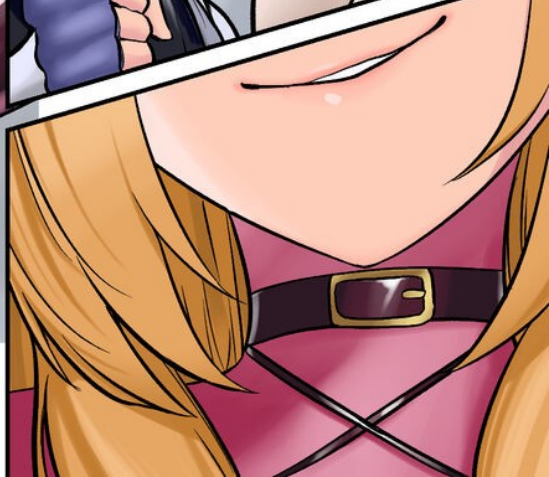
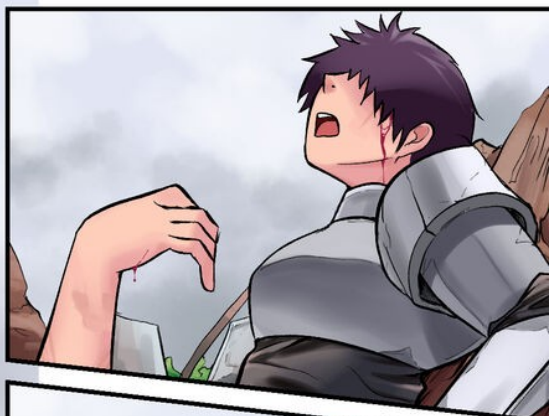
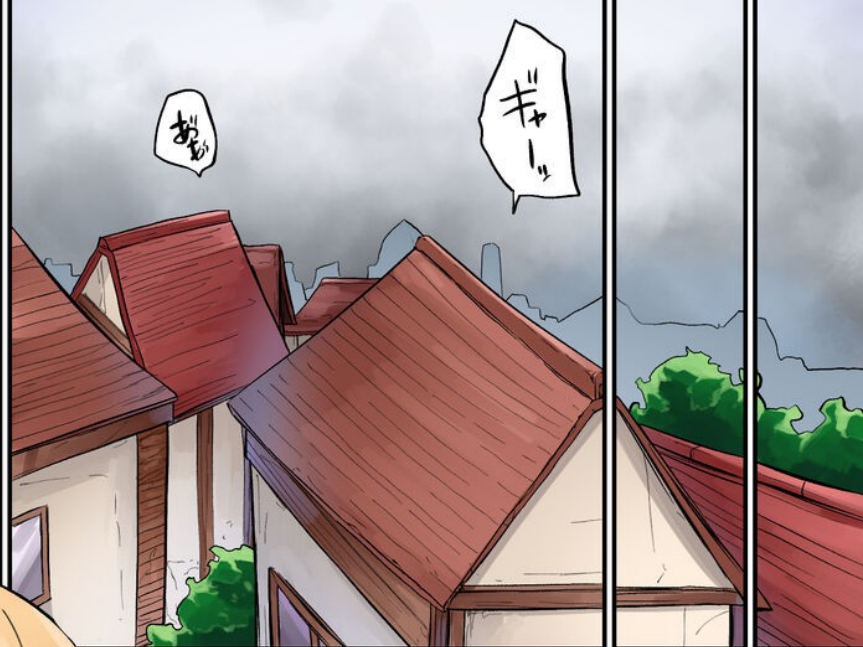
んあっ♡

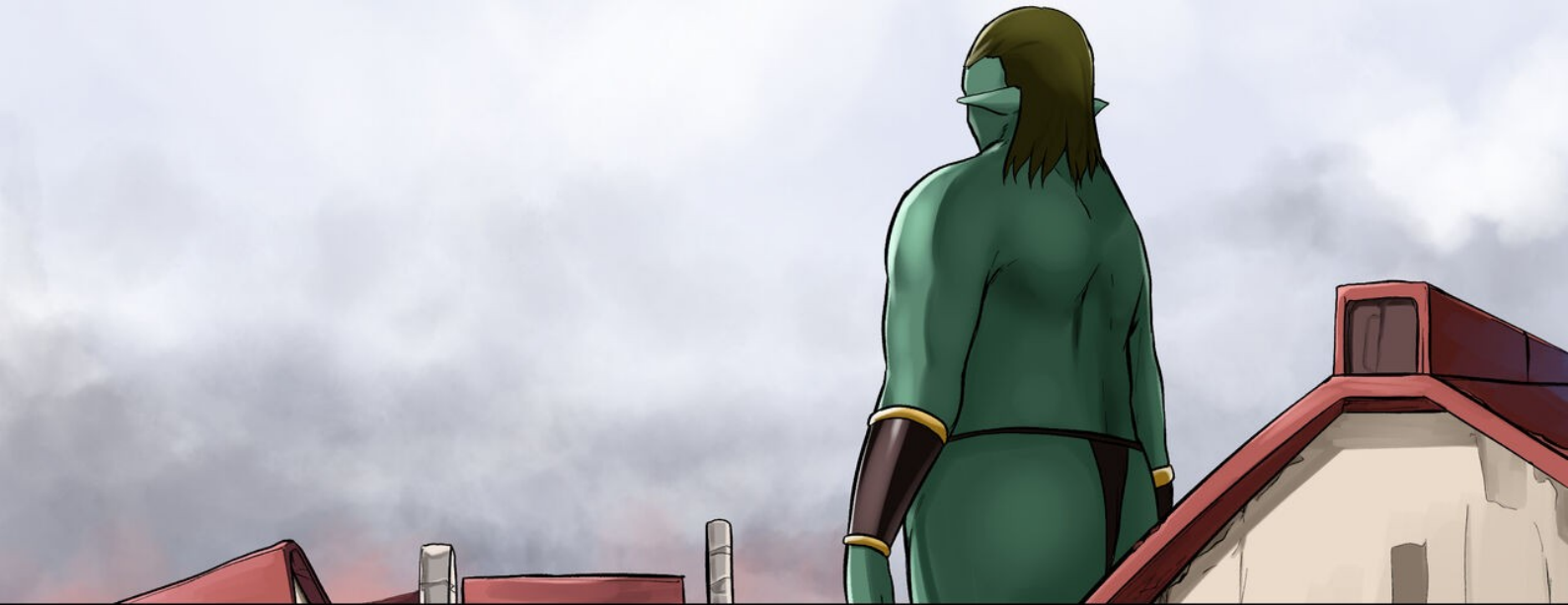
んッ♡

とちゅ♡
とちゅ♡

とちゅ♡















R-18

ADULT ONLY

姫騎士アリシアの受難

オーク様は姫騎士を
使い魔にしたい

PRESENTED BY

聖華快樂書店

STORY BY エルトリア

ART BY じゅらい COVER ILLUSTRATION 針魚

「くっ、殺せ！」

敵対するオークの首領に捕まってしまった姫騎士アリシア
囚われの身となった彼女に待ち受けていたのは

オークの **使い魔** となり

淫らなご奉仕 をすることだった

ぴっちりスーツに身を包み
オーク様を癒す
アリシアの屈辱的な
日々が始まる…!



